

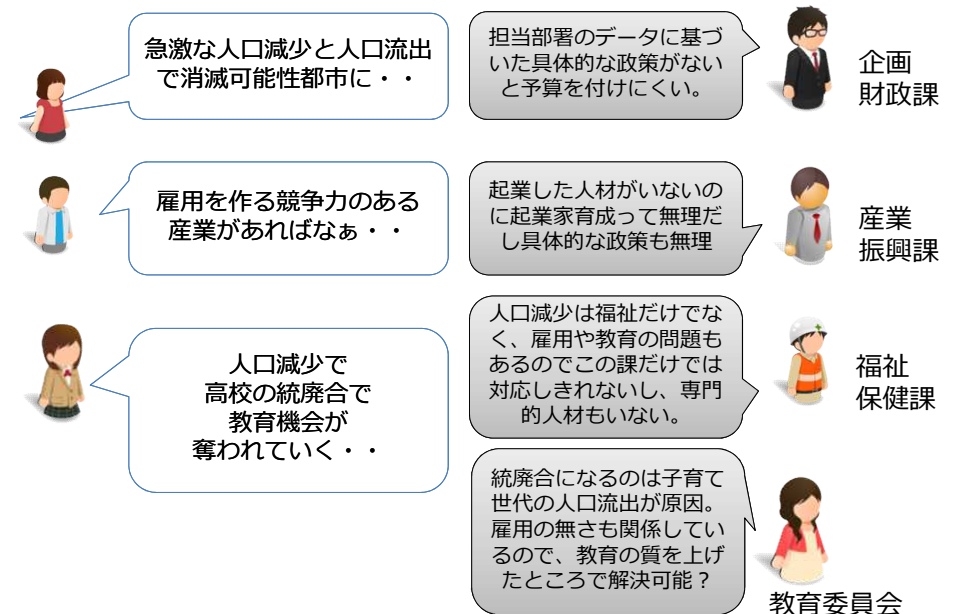


北陸大学地域連携センター
地域連携2.0について

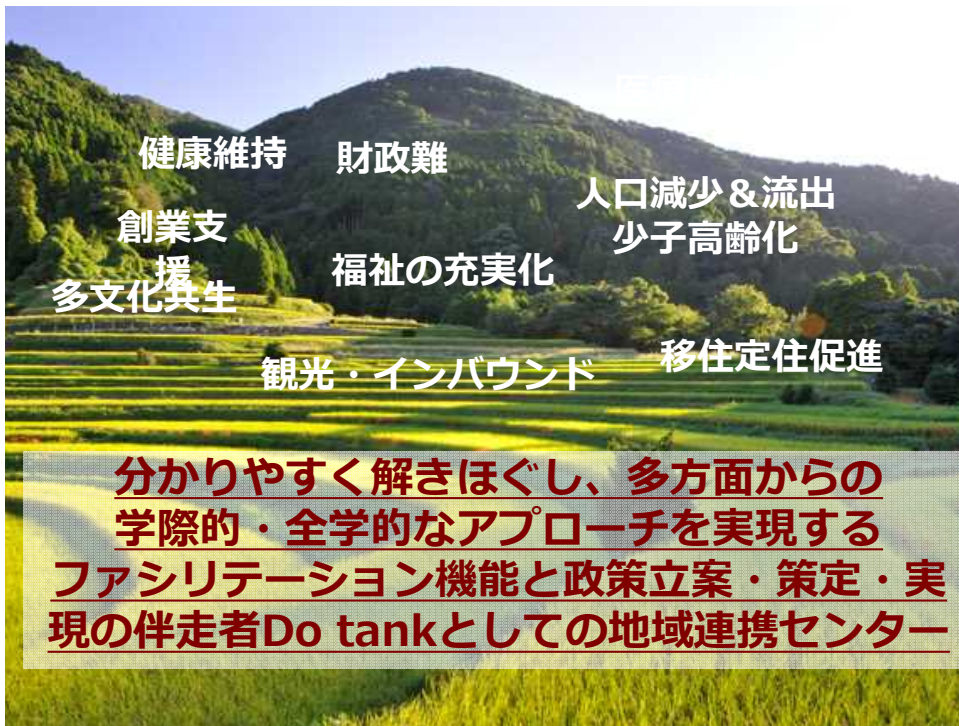
自己紹介

藤岡慎二
北陸大学経済経営学部教授
総務省地域力創造アドバイザー
慶應義塾大学SFC研究所上席研究員
株式会社Prima Pinguino 代表取締役
OECD日本イノベーション
教育ネットワーク連携研究員

地域連携1.0
地域からの信頼を得る
地域の御用聞き
地域連携2.0
地域活性化のDo tank



地域活性化に関する課題は複雑化・高度化



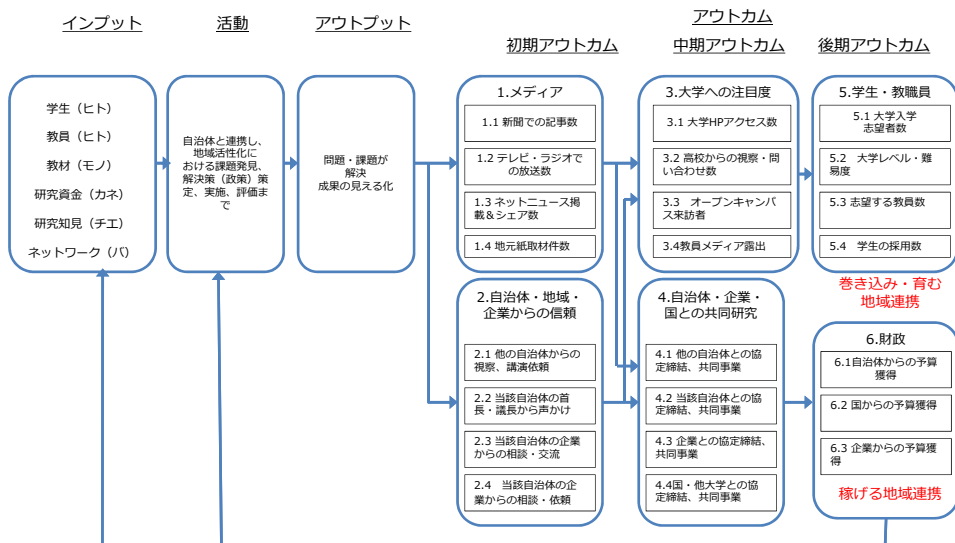


Identity
 大学が地域活性化・地方創生のDo tank
 (政策立案・策定・実現)となる。

地域活性化・地方創生は学問の総力戦

- 仕事づくり→起業・継業・遷業支援
 ⇨経営学・経済学・社会学・情報工学・技術イノベーション
- 行政の課題発見・解決能力の向上→公務員のリカレント教育
 ⇨教育学・経営学・総合政策学・文化人類学・生物学など
- 地域での産業における付加価値向上→ブランディング
 ⇨経営学・経済学・社会学・地理学など
- 行政による政策立案能力の向上
 ⇨行政学・公共政策学・法律学・政治学・総合政策学など
- 医療・福祉の充実→若い医師や看護師のキャリア保障、病院・社協の経営
 ⇨キャリアデザイン・経営学など
- 教育環境の充実→地方だから進学先が限らない、むしろ広げる環境作り
 ⇨行政学、教育学、情報工学など
 教育や就職に関する意欲格差の是正
 ⇨社会教育学、統計学、公共政策学など
- 地方のしがらみや縁故主義、閉鎖的なコミュニケーションの解決
 ⇨文化人類学、社会学、民俗学など
- 不便な生活の解決→自動運転技術・ドローン・サテライトオフィスなど
 ⇨情報工学・機械工学・法律学・政治学など

地域連携センターにおけるロジックモデル



アウトカムが良質なインプット、活動に良い影響を及ぼし、地域連携を中心とした大学の活性化・経営の安定化に向けての好循環が生まれる。
 課題：短期的に学生の成長をいかに図るか(例 PROGテスト?)

最後に

地方・地域の課題を解決できない大学に、
 地域課題を解決する人材を育めるのか？

地方・地域で付加価値を生み出せない大学に、
 付加価値を生み出す人材を育めるのか？

地方・地域に頼られない大学に、
 地域に頼られる人材を育めるのか？

地方・地域に支持されない、愛されない大学に、
 地域に支持され、愛される人材を輩出できるのか？

地方創生・地域活性化の時代だからこそ、
 大学の存在意義が問われる